

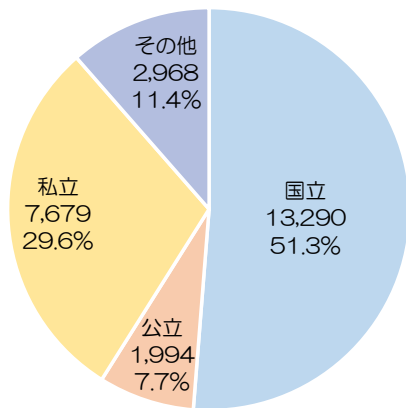
7. 研究(1)

7-1. 科学研究費補助金の研究機関種別配分状況(新規採択分)

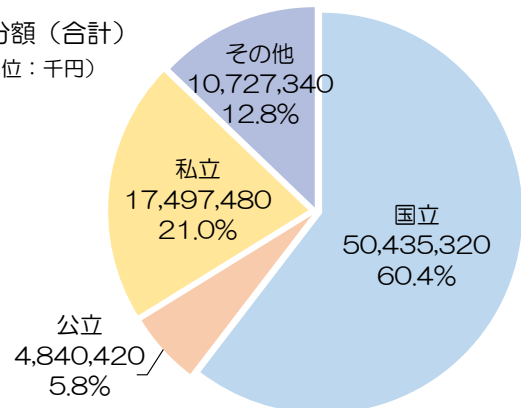
(単位：千円)

		応募件数	採択件数	採択率	応募額	配分額 (直接経費)	配分額 (間接経費)	配分額 (合計)
合計		95,482	25,931	27.2%	362,972,435	64,231,200	19,269,360	83,500,560
内訳	国立	44,181	13,290	51.3%	206,190,995	38,796,400	11,638,920	50,435,320
	公立	8,221	1,994	7.7%	23,159,273	3,723,400	1,117,020	4,840,420
	私立	31,993	7,679	29.6%	85,393,243	13,459,600	4,037,880	17,497,480
	その他	11,087	2,968	11.4%	48,228,924	8,251,800	2,475,540	10,727,340

採択件数
(単位：件)

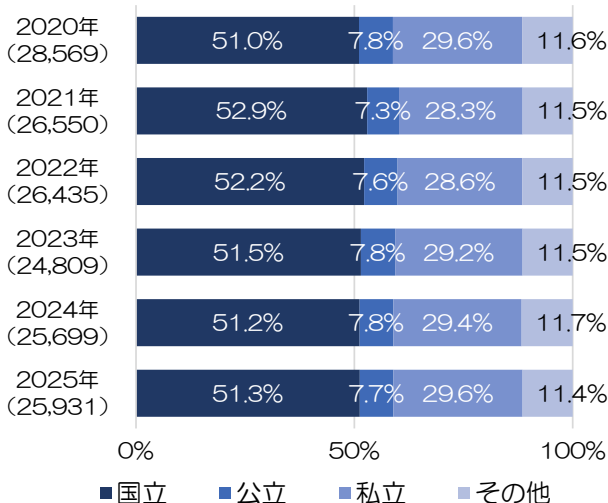


配分額(合計)
(単位：千円)



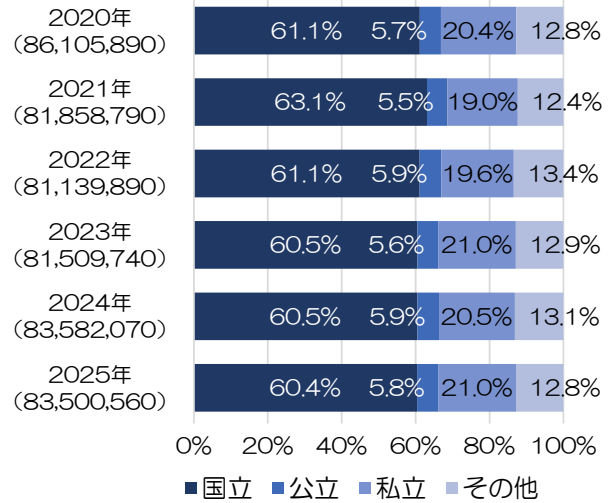
研究機関種別採択件数割合

(年度、
カッコ内は総採択件数(単位：件))



研究機関種別配分額(合計)割合

(年度、
カッコ内は総配分額(単位：千円))



(注1) 「学術変革領域研究(A)」(計画研究及び公募研究)、「学術変革領域研究(B)」(計画研究)、「基盤研究」、「挑戦的研究」、「若手研究」、「研究活動スタート支援」及び「国際共同研究加速基金(国際先導研究)」について分類した。

(注2) 研究代表者が所属している研究機関により整理しているため、研究分担者の分担金を反映した配分の実態を示すものではない。

(注3) 四捨五入の関係上、合計と内訳の数値が一致しないことがある。

(注4) 研究者登録人数は、令和6年11月時点での所属により分類。

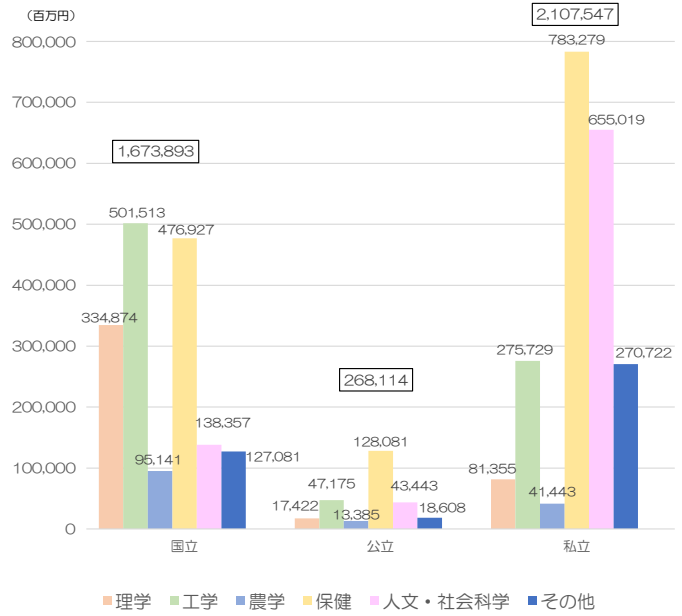
(出典) 日本学術振興会「研究者が所属する研究機関種別配分状況表(令和7年度新規採択分)」より国立大学協会事務局作成

7. 研究(2)

7-2. 組織・学問別研究費

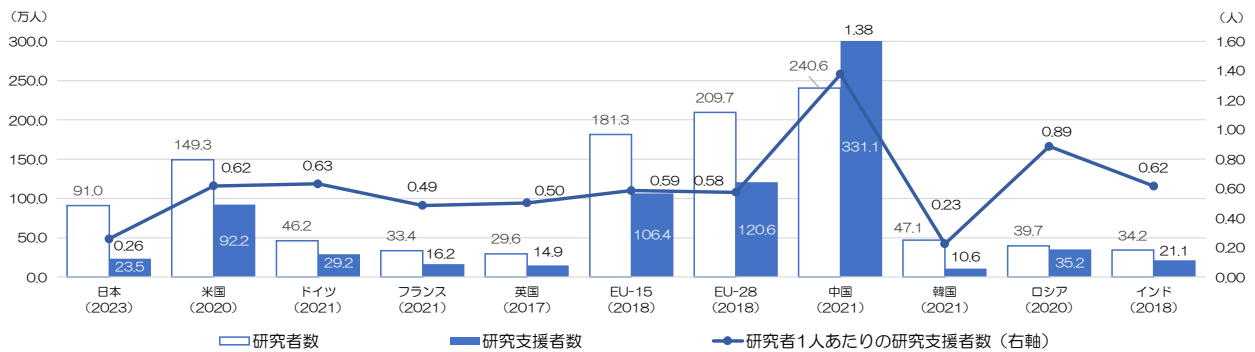
(単位：百万円)

	全体	国立	公立	私立	
総計	3,936,544	1,673,893	268,114	2,107,547	
自然科学	2,685,963	1,408,455	206,063	1,181,806	
	理学	385,558	334,874	17,422	81,355
	工学	800,307	501,513	47,175	275,729
	農学	146,106	95,141	13,385	41,443
保健	1,353,992	476,927	128,081	783,279	
人文・社会科学	832,470	138,357	43,443	655,019	
その他	418,111	127,081	18,608	270,722	



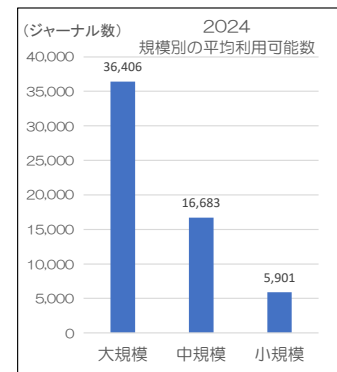
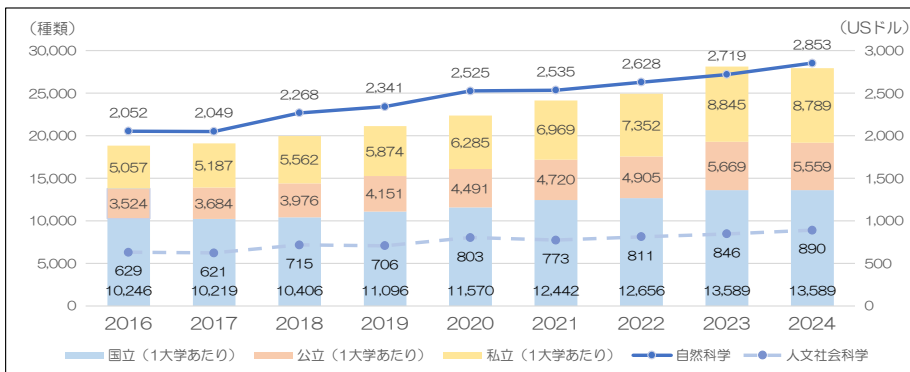
(注1) 研究費の内訳は、人件費、原材料費、有形固定資産購入費、無形固定資産購入費、リース料、その他の経費である。
 (注2) 2025年に実施された調査の結果であり、研究費は調査年の3月31日又はその直近の決算日から遡る1年間の実績である。
 (出典) 総務省「科学技術調査」(2025)より国立大学協会事務局作成

7-3. 主要国等の研究者1人当たりの研究支援者数



(注1) 研究者1人当たりの研究支援者数は研究者数及び研究支援者数より文部科学省で試算。
 (注2) 各国とも人文・社会科学を含む。
 (注3) 研究支援者は研究者を補助する者、研究に付随する技術的サービスを行う者及び研究事務に従事する者で、日本は研究補助者、技能者及び研究事務その他の関係者である。
 (注4) フランスの値は推計値である。
 (注5) 英国の研究者数の値は暫定値であり、研究支援者数の値は過小評価されている。
 (注6) EUの値はOECDによる推計値である。
 (出典) 文部科学省「科学技術要」(2023)より国立大学協会事務局作成 (令和6年5月31日時点)

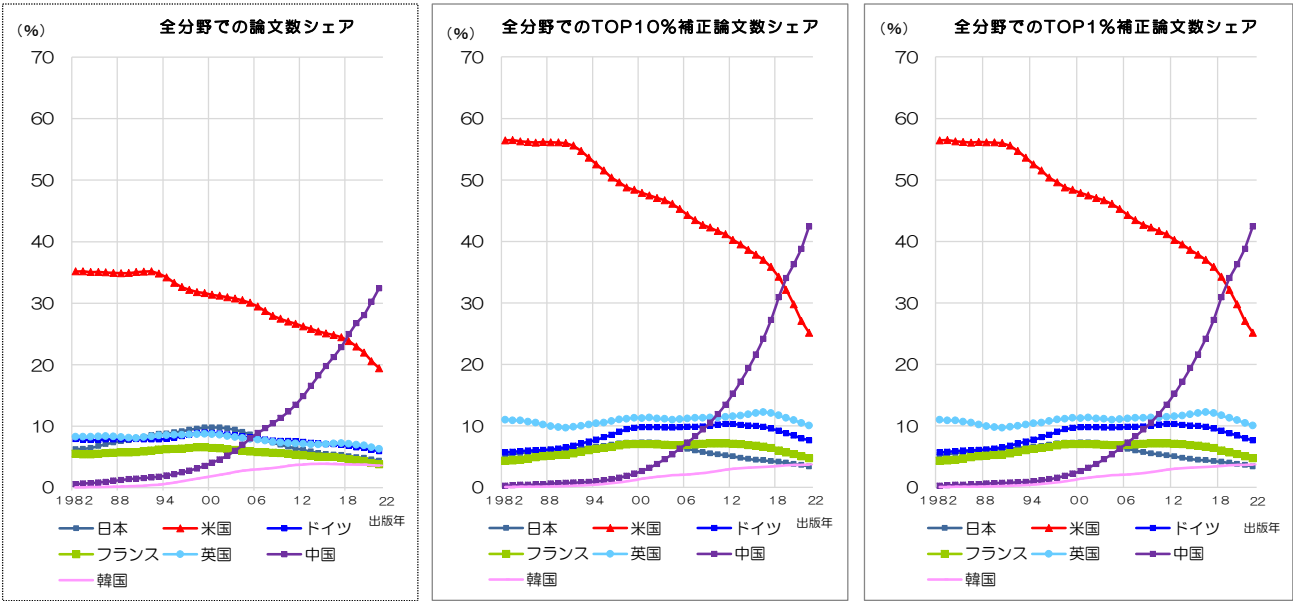
7-4. 電子ジャーナルの利用可能種類・平均単価、大学規模別の平均利用可能数



(注) 大学規模は、専任教員・学部生・大学院生の合計数が15,000人以上を大規模、5,000人以上15,000人未満を中規模、5,000人未満を小規模とする。
 (出典) 文部科学省「学術情報基盤実態調査」(各年度) (当該年度末時点) 及び大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 公表資料より国立大学協会事務局作成

7. 研究(3)

7-5. 主要国の論文数、Top10%補正論文数、Top1%補正論文数シェアの変化（全分野、整数カウント法、3年移動平均）

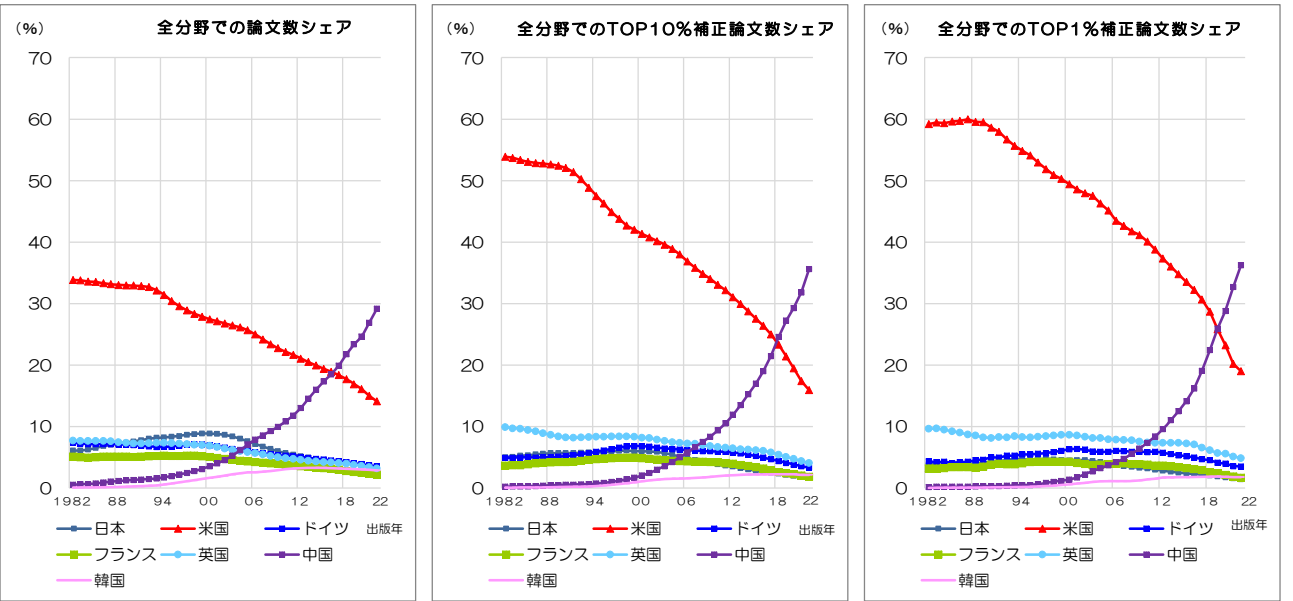


(注) 分析対象は、Article、Reviewである。年の集計は出版年（Publication year, PY）を用いた。全分野での論文数シェアの3年移動平均（2022年であればPY2021、PY2022、PY2023年の平均値）。

整数カウント法である。被引用数は、2024年末の値を用いている。Top10%（及びTop1%）補正論文数は22分野ごとに抽出しているため、分野分類できない論文は除外して算出している。

(出典) 文部科学省 科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2025」を基に、国立大学協会が加工・作成

7-6. 主要国の論文数、Top10%補正論文数、Top1%補正論文数シェアの変化（全分野、分数カウント法、3年移動平均）



(注) 分析対象は、Article、Reviewである。年の集計は出版年（Publication year, PY）を用いた。全分野での論文数シェアの3年移動平均（2022年であればPY2021、PY2022、PY2023年の平均値）。

分数カウント法である。被引用数は、2024年末の値を用いている。Top10%（及びTop1%）補正論文数は22分野ごとに抽出しているため、分野分類できない論文は除外して算出している。

(出典) 文部科学省 科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2025」を基に、国立大学協会が加工・作成

7. 研究(4)

7-7. 国内機関における論文数等ランキング

・総合（世界12位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	東京大学	1,709	1.7%
2	京都大学	1,040	1.5%
3	理化学研究所	702	2.3%
4	大阪大学	631	1.1%
5	東北大学	577	1.1%
6	物質・材料研究機構	569	3.3%
7	名古屋大学	539	1.3%
8	九州大学	494	1.2%
9	東京科学大学	452	1.1%
10	国立がん研究センター	437	4.0%

・化学（世界8位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	京都大学	147	1.4%
2	東京大学	130	1.3%
3	物質・材料研究機構	118	2.9%
4	産業技術総合研究所	69	1.1%
5	大阪大学	68	0.8%
6	北海道大学	67	1.1%
7	九州大学	60	1.1%
8	東京科学大学	53	0.7%
9	名古屋大学	50	1.0%
10	理化学研究所	44	1.1%

・物理（世界5位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	東京大学	404	2.3%
2	物質・材料研究機構	256	5.0%
3	理化学研究所	223	2.7%
4	京都大学	182	2.0%
5	大阪大学	138	1.6%
6	高エネルギー加速器研究機構	132	2.7%
6	名古屋大学	128	2.0%
8	東北大学	118	1.3%
9	東京科学大学	114	1.9%
10	筑波大学	86	1.9%

・材料科学（世界9位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	物質・材料研究機構	142	2.0%
2	東京大学	79	1.4%
3	東北大学	53	0.7%
4	産業技術総合研究所	44	1.1%
5	京都大学	35	0.9%
6	九州大学	33	0.8%
7	理化学研究所	32	2.5%
9	北海道大学	24	0.9%
8	早稲田大学	23	2.1%
10	東京科学大学	22	0.5%

・植物・動物学（世界12位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	理化学研究所	90	5.8%
2	東京大学	82	1.7%
3	京都大学	53	1.3%
4	名古屋大学	52	3.2%
5	東北大学	35	2.3%
6	岡山大学	31	2.7%
7	農業・食品産業技術総合研究機構	29	1.1%
8	奈良先端科学技術大学	27	5.2%
9	北海道大学	26	0.7%
10	香川大学	18	5.2%
10	筑波大学	18	1.2%

・免疫学（世界11位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	大阪大学	35	2.6%
2	理化学研究所	24	3.5%
3	京都大学	23	2.1%
4	東京科学大学	21	3.3%
4	慶應義塾大学	21	2.9%
7	東京大学	21	1.4%
7	広島大学	13	2.5%
8	北海道大学	13	1.5%
9	千葉大学	11	1.9%
10	国立健康危機管理研究機構	11	0.7%

・地球科学（世界12位）

国内順位	機関名	高被引用論文数	高被引用論文割合(%)
1	東京大学	90	1.4%
2	海洋研究開発機構	70	1.7%
3	国立環境研究所	59	5.1%
4	気象研究所	36	2.7%
5	北海道大学	36	1.4%
6	気象庁	34	3.4%
7	名古屋大学	29	1.4%
8	京都大学	27	0.9%
9	宇宙航空研究開発機構	22	2.5%
9	九州大学	18	1.0%

（注1）日本の研究機関が著者所属機関に含まれる高被引用論文の総計が、世界順位で上位の分野から、日本の大学・研究機関を抽出している。

（注2）世界順位は、分野別における高被引用論文の総計の順位。

（出典）クラリベイト・アナリティクス「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング 2025年版」（2025年6月13日）より
国立大学協会事務局作成